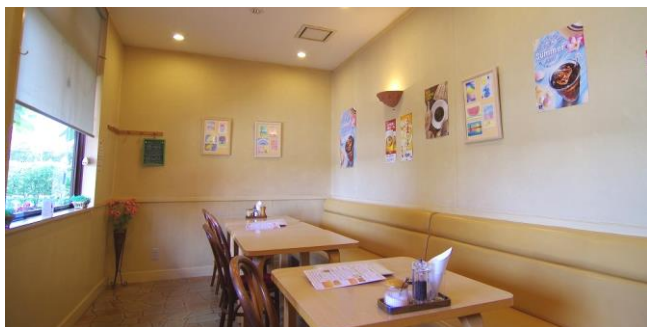


3色パステル画寺子屋主宰 二口 孝絵 (3色パステルアートインストラクター)

1周年：イタリアンレストランで展示会

2017年9月にぐんま教育文化フォーラムで行われたワークショップを機に始まった寺子屋も、1周年を迎えました。寺子屋も半年を迎えた頃、毎月、寺子屋へ通い続けて下さっている方達や、ワークショップの受講生の作品の発表の場を設けたいと考えていました。

時々、ランチを食べに通っていた、イタリアンレストラン リボルノ（高崎市貝沢町1250-1）は、オルゴールの音楽が流れ、白い壁に綺麗なお花が飾って有り、可愛らしい内装で、パステル画の雰囲気とぴったり合っていた為、リボルノのご主人とご相談させて頂き、ご主人もパステル画をととても気に入って下さったので、展示会を開く事となりました。開催期間は、2018年8月24日から、9月1日までの、9日間となりました。



心のアートセラピー

他人に、自分の絵の鑑賞をして頂ける機会を持つという事は、他人が自分（作品は、自分の分身。）に無関心ではなく、関心を持って見ている事が実際に分かる事なので、自己肯定感を高めるプログラムの一つでも有り、心のアートセラピー（絵画治療）の効果が有ります。

何かのサークルに所属していたり個人で活動等をしていないと、社会の公の場で自分の作品を見て頂く機会を持つ事は中々、難しいと思います。受講生の中には、様々な立場の人が居り、

今後、作品を発表する場を見付けられる機会等は、余り無いのではないかとと思われる人も多く、今回の展示会は、貴重な経験になったと思います。

店の雰囲気とマッチした展示に

出展参加者は、寺子屋の受講生の他、NPO法人さんきゅうハウスという、野宿者支援団体でのワークショップ受講生の絵も展示させて頂きました。作品は、全部で20点以上の葉書きサイズの作品が出展されました。

出展参加者を含め、リボルノの一般のお客様からは、「絵が、お店の雰囲気とマッチしていて、とても癒される空間だった。とても素敵に飾ってくれて、本当に嬉しかった。又、展示して頂ける様な機会を作って欲しい。辛い気持ちを忘れる事が出来た。前向きに生きていける様な感じがしました。」等のメッセージを口頭も含め、感想ノート等にも頂きました。

前向きな気持ちになれた

寺子屋の受講生もさんきゅうハウスのワークショップ参加者も元々、絵は上手くないし、自分の絵を他人に見せるのは恥ずかしいと言われていた方達ばかりでしたが、今回の展示会を機に少しずつ、絵に対して、前向きな気持ちになれたので、今は積極的に絵を描いて、友人や家族にプレゼントしたり、見せる様になったという近況報告も頂きました。

心を解放する場でありたい

私の3色パステル画寺子屋やワークショップは、自由に自己を表現出来る場であり、心を解放する場でありたいと思っています。今後も、寺子屋という居場所を必要として下さる多くの受講生の皆様の為にも、みんなの寺子屋を長く続けていきたいと思っています。

